

下館二高生が看護師の仕事体験

医療系インターシップで「やりがいある仕事」

下館第二高校の2年生生徒5人が7月26、27日の2日間、医療系インターシップとして城西病院を訪れました。仁平遥香さん、飯島涼花さん、工藤優汰君、前川果穂さん、宮本彩名さんと、5人とも将来、医療関係の仕事に就きたいと希望していました。

5人は、病院内の見学をした後、城西病院の看護師のユニホームに身を包み、看護師の仕事の一端を体験しました。患者さんの検温や点滴の交換などを看護師と一緒に回って見学し、患者さんとお話したりしました。また、聴診器を体験したり、血圧計や血糖値測定器、血液酸素量の測定、車いすを自分で試したりもしました。

このほか、CTスキャンや血管カテーテル装置などを間近に見て、その原理やどういった時に使うのかを聞いたり、血管カテーテルで治療をする際に、放射線防護服を着て作業する姿も体験しました。

仁平さんは「ふだん見ることでできない所を見て、仕事の一つ一つに興味を持てました」、工藤君は「看護師以外の仕事も見ることができて、有意義な2日間でした」、飯島さんは「看護師と患者さんの触れ合いがすごいと思いました」、前川さんは「患者さんのために一生懸命やっている姿が印象的でした」、宮本さんは「とても忙しい仕事。でも実際に働く姿を見て、言葉を聞いて、本当に貴重な体験になりま



点滴交換を見学する生徒たち

した」とロ々に感想を語っていました。そして5人とも「やりがいのある仕事。医療の道に進みたいと改めて思いました」と話していました。

平成 28 年
7 月 27 日



車いす体験をする生徒たち



CTスキャンを疑似体験



放射線防護服を着て治療する姿を体験



血管カテーテル装置を疑似体験